

# 人文研紀要

第14号～第16号(1993年)

◆第14号—1992年(1992年8月発行 A5版229頁)

子午線の通る街 —ツェラーンのチェルノヴィッツ(1)	北 彰
ネストロイのパロディーのはじまり	新井 裕
大学改革におけるカリキュラム問題	中野 光
文化の擁護・1935 <small>フェティッシュ</small> —あるいは左翼知識人にとっての物神	石黒 英男
文化擁護国際作家大会とシュルレアリスム —その前史(「直観的時代」から「理性的時代」へ)	相磯 佳正
あるインテリ作家の亡命と闘い —ハインリヒ・マンのフランス亡命の一側面	五十嵐 敏夫
伝承文化への視座 —異文化論からみた民俗芸能	武山 智
日本社会論その原理と実態	宮城 隆司

◆第15号—1992年(1992年8月発行 A5版197頁)

<p>紹介:スコットランドの若者たちの歌 —現代のゲール語文化の一断面</p>	<p>小菅 奎申</p>
<p>ターロー・オキャロランとアイリッシュ・ハーブ</p>	<p>菊池 正邦</p>
<p>Das Zertifikat Deutsch als Fremdsprache : Erfahrungsbericht</p>	<p>Waltraud Oka</p>
<p>中世アイルランドの女性(上) —『アダムナンの法』をめぐって</p>	<p>盛 節子</p>
<p>ローマとケルト人(下) —ポリュビオス『歴史』第2巻第14～35章 訳および注</p>	<p>月川 和雄</p>
<p>文学に現われたハンセン病</p>	<p>福田 宏年</p>
<p>異文化の中の作品の運命 —中国における『人形の家』の受容をめぐって</p>	<p>張 競</p>

◆第16号—1992年(1992年8月発行 A5版179頁)

『シスター・キャリー』の通俗的経済観への疑問	大浦 暁生
教会を読むアダムズ —横断と切断	岡本 正明
無垢と経験の構図 —ブレイクのヴィジョン	土屋 繁子
日本におけるヌーヴォー・ロマンの研究(1)	鈴木 重生
Sciences humaines et morale : l'imposture de l'objectivité éthique	Françoise JEAN
〈世紀末の悪鬼〉というもの —病いとしての文化, 文化としての病い	小山田 義文